



▲会田教育長（右）へ宣言内容を報告する岡田和人会長（中央）と本間英樹監査（左）

### 将 桑折町子どもヘルメット着用共同宣言 来を担う子どもたちの命を守るために

町 PTA 連絡協議会は 2 月 3 日、子どもたちが自転車に乗車する際のヘルメット着用率を上げるため、「桑折町子どもヘルメット着用共同宣言」を掲げました。同会は、町内における自転車事故が後を絶たない中、4 月 1 日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されることに伴い、各家庭や学校、地域と協働し、子どもたちの安全・安心な生活を守る取り組みを推進していきます。令和 6 年 4 月からは、中学生が使用する通学用ヘルメットを、機能性、安全性、デザイン性がより高く、普段使いもできるものに移行する予定です。



▲高橋町長（左）に要望書を手渡す地権者と事業者代表の富田智有さん（右）

### 物 伊達桑折 IC 周辺に「流通業務地」開発を目指す要望会 流拠点の形成を目指して

伊達桑折 IC 周辺に「流通業務地」の開発を目指すため、町と地権者、事業者らの要望会が 2 月 13 日、役場で行われました。町は、「21 世紀の追分」推進プロジェクトとして、伊達桑折 IC 周辺の土地を「複合型流通業務地」として活用するための取り組みを行っています。要望会では、当該土地の約 20ha に物流・倉庫業の開発を目指す地権者と事業者の皆さんが、早期実現に向け、国や県との円滑な協議や財政支援、周辺道路の整備などを要望。町は、関係する計画などの整備を進め、令和 6 年に造成工事が着工できるよう支援していきます。



▲佐藤徳雄会長（右）から感謝状を受け取る琴音さん（中央）と母佳織さん（左）

### 伸 桑折ライオンズクラブ ヘアドネーション感謝状贈呈 ばし続けた髪を、誰かのために

桑折ライオンズクラブは 2 月 1 日、病気やけがで頭髪を失った子どもたちの医療用ウィッグ（かつら）を作るために、髪の毛を寄付するヘアドネーションの活動に参加した阿部琴音さんへ、感謝状を贈呈しました。琴音さんは、新聞や町広報紙で活動を知り、約 3 年間伸ばし続けていた髪の毛を約 30cm 切り、活動団体へ無償で提供しました。琴音さんと家族は「自分の髪の毛が、誰かのために役立つのはうれしい。機会があればまた寄付したい」と話しました。

広告

### 笑 醸芳保育所・幼稚園で豆まき って泣いて鬼退治

節分の日の 2 月 3 日、1 年の無病息災と心の成長を願い、醸芳保育所・幼稚園で、毎年恒例の豆まきが行われました。保育所では、金棒を振り回しあばれる大きな赤鬼が現れると、テラスで待ち受けていた子どもたちが、豆に見立てた球を一生懸命に投げて反撃。笑ったり泣いたりしながら、みんなで鬼を追い払いました。幼稚園では、3 体の鬼が現れ、手作りの鬼のお面を被った年長組は、鬼を怖がることもなく、果敢に立ち向かい、「鬼は外！」という元気な声が園中に響き渡りました。



1\_ ドンドンと足音を響かせながらテラスに現れた鬼に豆を投げる子どもたち（幼稚園） 2\_ 現れた鬼に驚いたり球を投げつける子どもたち（保育所） 3\_ 迫力ある大きな動きで襲う鬼（保育所）

### 地 消防署西分署改築工事安全祈願祭 域を守る拠点新たに

伊達地方消防組合中央消防署西分署改築工事の安全祈願祭が 2 月 13 日、現地で行われました。同署は、昭和 48 年に建設されて以来 49 年間、消防・救急活動の拠点として、地域の安全・安心を支えてきましたが、施設や設備の老朽化に伴い、同一敷地内に建て替えられることになりました。工事着工に先立ち行われた安全祈願祭では、伊達地方消防組合副管理者の高橋町長も参列し、工事の安全を祈願。新たな西分署は、令和 6 年 3 月 29 日に完成予定です。



▲地域を守る新たな拠点として生まれ変わる西分署のイメージ図

広告

広告